

三州鬼師の技

— 伝統と創造 —

日本の風景になくはならない瓦屋根。屋根の頂にそびえ、建物を守り、ひいては人々の暮らしを守るのが鬼瓦です。その鬼瓦を作る職人を「鬼師」と呼びます。鬼瓦から飾り瓦、さまざまな造形物まで、鬼師は土の声を聞きながら、ヘラ一本で仕上げていきます。

三州では、鬼瓦に残るヘラ書きの年記から、江戸時代中期の18世紀には鬼瓦職人が存在したことが分かっています。以来、その技が脈々と受け継がれ、今現在も研鑽を積んだ鬼師たちが活躍し、新たな作品を生み出し続けています。

この展覧会では、今まさに活躍する鬼師たちの作品を中心に紹介いたします。伝統を受け継ぎ創造を続ける鬼師の技を、どうぞご堪能ください。



鯉瓦制作風景 鬼師・加藤元彦氏



鍾馗像 神谷勝義・作



鬼のランプ 2015年 萩原尚・作



亀文鬼瓦 1930年頃 浅井長之助・作

【表面】本鬼面一文字 2012年 杉浦義照・作

●期間中開催の「瓦」の展覧会 愛知県陶磁美術館
企画展「瓦万華鏡～社会、地域、心をつなぐ～」
平成29年4月15日(土)～6月25日(日)

●お隣の美術館 刈谷市美術館
「描かれた大正モダン・キッズ
婦人之友社『子供之友』原画展」
平成29年4月22日(土)～6月4日(日)

関連行事

○三州鬼師による鬼瓦製作実演

内容：プロの鬼瓦職人に、鬼瓦製作の実演をしていただきます。
日時：5月3日(水・祝) 午後1時30分～3時30分の間で随時
講師：三州鬼瓦製造組合(かわら美術館アート・サポート・メンバー)
場所：2階陶芸創作室

○かわら美術館 館長講座「く鬼」の来たみちー大陸から日本へー

内容：大陸で生まれ日本へ伝わった、鬼の図像や造形について鬼瓦などをみながらお話しします。
日時：6月3日(土) 午後2時～
講師：井口喜晴(高浜市やきものの里かわら美術館館長)
場所：3階モノコトギャラリー
参加費：無料
定員：40名
申込：4月28日(金) 午前10時より電話にて受付

○ギャラリートーク

内容：担当学芸員が展示の見どころをご案内します。
鬼師の方が登場するかも?!
日時：4月29日(土・祝)、6月18日(日) いずれも午後2時～
参加費：無料(ただし当日観覧券が必要)

●期間中開催のイベント ワークショップ「ロボットをつくって対戦しよう！」

日時：5月7日(日) ①午前11時～正午 ②午後1時30分～2時30分
講師：水口功氏(かわら美術館アート・サポート・メンバー)
定員：各20人(先着順) 申込：4月7日(金) 午前10時より電話にて受付



電車でお越しの方
◆名鉄三河線「高浜港」駅下車徒歩10分
(名鉄名古屋本線「知立」駅またはJR東海道本線「刈谷」駅で名鉄三河線碧南行に乗り換え)

車でお越しの方
◆知多半島道路久比インターから約15分
◆国道23号(知立バイパス)西中インターから約20分
◆国道23号(知立バイパス)高榎福釜インターから約15分

〒444-1325 愛知県高浜市青木町九丁目6番地18
TEL 0566-52-3366 FAX 0566-52-8100
http://www.takahama-kawara-museum.com

かわら美術館 検索

予告 「みえるような みえないような」 2017年7月8日(土)～9月18日(日・祝)